

[4]

若手フォーラムについて

[4]

若手フォーラムの趣旨

FCP若手フォーラム

- 1.産官学協働のプラットフォームの中で、**若手スタッフのみなさんと FCP経験者が自由に交流**する場を提供する



- 2.交流を通して食品関係の事業者・組織の**次代を担う人材を育成**する
3. 食の安全・消費者の信頼向上の**FCPの取組みを次代に受け継ぐ**

[4]

若手フォーラムの概要

【参加対象者】

若手・中堅社員（職員）

業種・職種に限定なし

例：品質管理、検査、製造、物流、製品開発、研究、お客さまサービス、営業、人事、広報、店舗スタッフ、マーケティング、行政、生産（農業など） 等幅広く対象



参加者は年間を通して同一人物が、原則、毎回出席

【チーム編成】

全 7チーム

ファシリテーター（FCP経験者）が、事務局と連携し参加のみなさんとワークショップがより充実するようにサポートします（各チームに1～2名入っていただきます）

[4]

若手フォーラムの概要



【全体構成】

- 講演とワークショップ6回（5、6回目はワークショップのみ）
- 活動報告会
集合形式（WEB方式の参加を含む）

【テーマ】

- 1回目 「食」への信頼を創る
- 2回目 食品安全と品質保証に対する考え方
- 3回目 消費者への伝え方
- 4回目 信頼を高めるコミュニケーション
- 5回目 最終成果物の制作

[4]

若手フォーラムの概要

【スケジュール※】

講演とワークショップ

第1回 5月29日（水） 13時～17時

第2回 6月

第3回 7月

第4回 9月

第5回 11月（ワークショップのみ）

第6回 1月（ワークショップのみ）

活動報告会 2月

【会場※（集合）】

東京・霞が関

農林水産省（省内会議室または周辺会議室）

（第1回）中央合同庁舎第4号館 1218～1221号会議室

※スケジュール・会場は事情により変更になる場合があります

[4]**若手フォーラムの概要**

- FCPの発足から17年を経過し、食の多様化、社会環境の変化が加速化し、新たな社会的価値や消費者の新しい生活様式への対応が求められており、食品業界のリーダーとなる若手スタッフの育成に重点をおく

【ワークショップの進行】**事前**

1. チームで次回のリーダー・サブリーダーを決める
2. 次回のテーマをもとに事前課題を出題する
リーダー・サブリーダーに締め切りまでに提出する
3. リーダー・サブリーダーはまとめてチーム内で共有し、事務局に提出する

**当日**

1. チームでリーダー・サブリーダーを中心に事前課題のテンプレートに従って、全員で協力して体験や意見を述べ合い、共有する
＜経験豊富なファシリテーターがサポートしてくださいます＞
2. 意見を模造紙/付箋紙などに記録する
3. 最後にチームで話し合った内容を発表する



Copyright (C) 2024 MAFF All Rights Reserved.

[4]

若手フォーラム チーム発表紹介

令和5年活動報告会での各チームの発表

エシカル消費体験から見た
現在の課題と未来妄想図

チームメンバー

株式会社 永谷園ホールディングス
株式会社 旭物産
消費者庁
フジッコ株式会社
株式会社タカキベーカーリー
株式会社ニチレイ
日本ハム株式会社
コープデリ生活協同組合連合会
株式会社ニッポン
株式会社鍋子丸
ファシリテーター：国分グループ本社株式会社

土屋 亜奈
茅根 俊海
三浦 雄也
濱口 理彩
山本 真澄
増富 大樹
今林 幸仁
松浦 由佳
半澤 拓夢
弦巻 綾香
瀬川 恵寛

Aチーム

FCP Bチーム活動報告
～体験型グルメフェスのご提案～



1/17



このマーク、知ってる？

2024年2月14日

Dチーム 改め『認証マーク向上委員会』



「タベキル」で
食べ切るゾ

Fチーム

ハウス食品グループ本社株式会社 高橋 一平
(株) ローズン 馬 静
(株) トリドールホールディングス 浅井 ありさ
日本マクドナルド株式会社 内田 輝里
伊藤ハム米久ホールディングス 坂本 るみ
消費者庁 野尻 恵太
農林水産省 鈴木 健太



最後に・・・

この後から、「若手フォーラム」が始まります。話し合しましょう。

・食品へのかかわり方の違い:

生産業・製造業・物流業・卸業・販売業・飲食業・検査・監査……等

・部署での違い:

営業・仕入・製造・生産管理・品質管理・品質保証・総務……………等

意見が違う、意見が多様
「気づき」があります。
「見える」事もあります。